

平成25年度病害虫発生予報第1号(4月予報)

＜お知らせ＞4月に発生が予想される病害虫についてのコラムがあります(17～18ページ参照)。

今月のトピックス

さび病(さとうきび)

学名 : *Puccinia kuehnii* (黄さび病)

P. melanocephala (褐さび病)

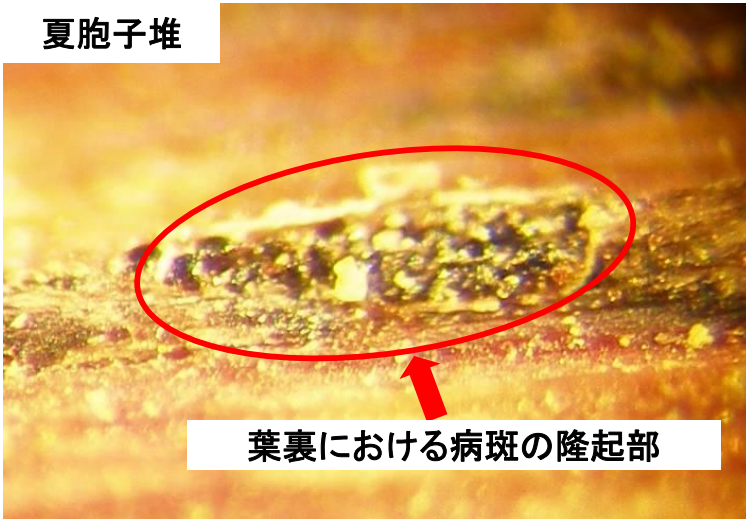
発生圃場



葉表の病斑

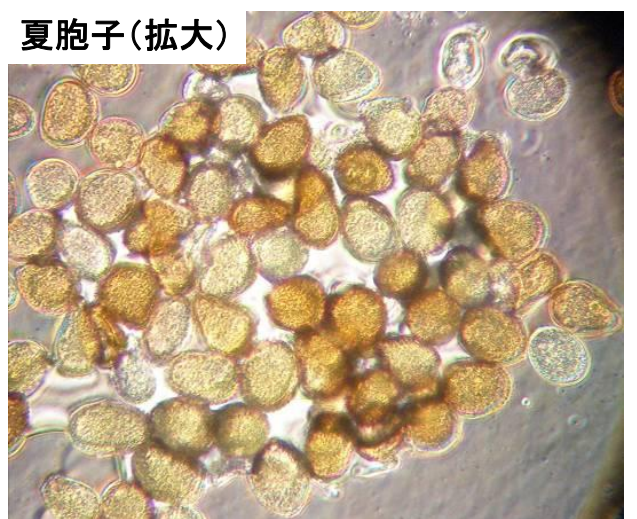


夏孢子堆



葉裏における病斑の隆起部

夏孢子(拡大)



生態と被害

さび病を引き起こす病原菌として2種類が知られ、褐さび病では褐色～暗褐色のすじ状病斑、黄さび病では黄褐色～赤褐色のすじ状病斑が葉に現れる。病斑は葉の表裏で発生するが裏面で顕著である。葉裏に隆起した夏孢子堆が形成され、孢子が飛散・伝播する。多発圃場では、赤褐色に変色した病葉が圃場全面に広がり、収穫時の茎重の減少やブリックス低下の原因となることが報告されている。周年発生が見られるが、5月～7月に多く発生する。発生は窒素過多、風通しの悪い圃場、乾燥地で助長され、国頭マージ、島尻マージ地帯で多い。病原菌に対する抵抗性が品種間で異なり、抵抗性品種を植え付けることが望ましい。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>

平成25年3月25日
沖縄県病害虫防除技術センター